



◆◆◆ 非常事態宣言が全国で解除されましたが・・・?! ◆◆◆

新型コロナウイルス感染拡大防止の非常事態宣言の指定が、全国都道府県で解除され、ようやく入学式や始業式を終え、学校の日常が始まった地域があります。また、この新型コロナウイルスによる死亡者は、世界で30万人を超えています。本校生徒が298名ですので、角中1000校分以上の人が世界中で亡くなっているという、とても怖い感染症です。

秋田県での感染者は16名で止まっているとはいえ、本当にどうしたらよいか分からない不安な毎日を送っています。その中で北九州市の小・中学校においてクラスターが発生するなど第2派の猛威も心配されるところであります。

専門家等の意見では、数年この状況が続く予想もあることから、感染防止を取り入れた新しい生活様式が進められています。みなさまにおかれましても、これまで行ってきたいていただきます毎朝の検温、うがいやアルコール等での手指消毒を含む手洗い、こまめな換気などの健康で安全な環境管理の基本的な事柄をはじめ、①不要不急の外出を控える。②3密の状態を避ける。③過剰反応や誹謗中傷をしない。という取組を、今後もどうか気を緩ますことなく、継続してまいりますようよろしくお願いいたします。

学校生活の全てでチーム角中を！(所長訪問)

5月26日(火)午後、秋田県教育庁南教育事務所仙北出張所長を含め5名の先生方が来校しました。校長から学校経営について説明したあと、5・6校時の2時間をかけて、全学級と全教員が授業の様子を観てもらいました。

学校で友だちと一緒に学ぶことができ嬉しい気持ちが表情や言動に出ている。理解したい、覚えたい、上達したいと自分を高めようという姿勢で学んでいる。生徒と先生、生徒と生徒同士が信頼し合って授業をしているなど、お褒めの言葉をたくさんいただきました。また、全ての生徒がマスクを着用して授業するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策で様々な制限がある中、みんなで協力して頑張っている姿に感心し、安心していました。



ふるさとの宝を守る！(2年生桜並木施肥作業)

5月27日(水)午前、2年生が桜木内川堤桜並木の施肥作業を行いました。ふるさとの先人が残してくれた文化財を自分たちの手で継承していく心を育成したいという目的で、昭和63年から角館町と角中とで続けている活動です。今年度は、市の担当の方を講師に迎えた集会で事前学習して臨みました。作業はコロナ対策で残念ながら例年のように協力し合っではできませんでしたが、今年度も大曲支援学校せんぼく校のみなさんと一緒に実施することができました。横町橋から古城橋に向かって、あらかじめ掘られてある穴に肥料を入れる作業でした。はじめは恐る恐るでしたが、2・3回行くと慣れて手際よく行うことができました。終了後に雨に降られましたが、ふるさと角館に貢献することができ、2年生全員、とてもいい顔で学校に戻って来ました。



基礎基本の定着はドリルと継続！（基礎テスト）

5月27日（水）登校し朝一番に数学の基礎テストを行いました。本校が長年課題にしている「繰り返しそして継続して取り組み、基礎基本を定着させる」という姿勢を身に付けるとともに、小さい成功例や達成感を味わわせ自信をもって学習に向かう態度を育成することをねらい、年間数回全校一斉に行っています。数学の問題は各学年ごとに内容は違いますが、今年度最初であったこともあり、全員が真剣に取り組む、各学年で満点者や一発合格者が多く出ました。こつこつと粘り強く努力する力強さを身に付けた角中生を、今後も全員で目指しましょう。

自・共・公助で自他の命を守ろう！（避難訓練）

6月2日（火）4校時に令和2年度第1回避難訓練を行いました。防災意識を



高め、災害等発生時に的確な判断と行動ができる、適切な避難行動をとることができる能力を育てることができ、をねらいとして実施しました。地震後に避難口を確保と確保するなど、その場に適切な安全を確保する一時避難。避難指示を受け、2次被害を防ぐ「おはしも（押さない・走らない・喋らない・戻らない）」を徹底し各自適切な避難経路を整然と避難する二次避難。避難場所での留意事項などに気を付けながら、真剣に訓練に全校生徒が参加しました。

家庭において発生した場合についても、ご家族でご確認をお願いいたします。

休校中・明けの頑張りを試す！（前期中間テスト）

6月4日（木）前期中間テストを行いました。1年生は初めて、2・3年生にとっても今年度初めての定期テストでした。テスト数日前から学習計画を立てるなどテスト対策をして臨みました。4月から学習した範囲の内容の問題に挑戦し、国語、社会、数学、理科、英語の各教科の授業で学習したことと、休校中と学校が再開されてからの毎日の家庭学習を頑張った成果を確認することができました。

定期テストは年間残りあと3回ありますし、実力テストもあります。ただ点数ばかりに一喜一憂するのではなく、テストが返却されたならば、できれば親子で、次のことに気を付けて見直し理解を確実なものにして、基礎基本の定着と実力の向上を図っていただきたいと思います。昨年も書きましたが、ご家庭で次のことをどうぞ参考にしていただけましたらと思います。

1. 問題をどう（なぜ）間違えたのかを分析（種類分け）する

- ①準備（勉強）不足（理解・知識が足りなかった…）か？
- ②完全な間違いか、部分的な間違いか？
- ③問題の読み間違い、解答間違い（単位、スペル等）の単純ミスか？
- ④テスト自体の受け方（時間配分や解答の順番の工夫等）か？

2. 上記①～④を分析したら、自分にあった対策を実践する

- ①授業、家庭学習の充実、学習時間の確保と学習計画の立案と実践 など
- ②どこから不安だったり分からなかったりしているのかを明確にし、自分で再確認したり、友人や先生から教えてもらったりして確実に覚える
- ③どんなケアレスミスが多いか確かめ、普段から気を付けて解答に努める
- ④総合問題のテストに挑戦し慣れるようにしたり、教科特有の時間配分や解く問題の順番などの工夫（こつ）等の情報を友人、先輩、先生から得る

3. 更に確実なものにするために、ぜひ、こんなこともやってみる

- ★解き直し
 - 更に間違える場合は再理解
 - 時間をおいてもう一度解き直し
 - 類似問題で再確認
- ★間違いノート（ファイル）を作成し、繰り返して確認する
 - 間違えた問題
 - 間違えた原因
 - 解説や再発防止の大切なポイント
- ★問題を分析する
 - 授業で教科書や先生の説明の中で、どの部分が問われた問題なのか？
 - 各問題の全体（学級・学年）の正・不正解の傾向をつかみながら取り組む